



小 / 算数 / 3年 / 数量関係

15. を使った式 / 理解シート

かけ算の式で、<sup>しき</sup> を使った式の<sup>つか</sup> 表し方<sup>あらわ</sup>を教えて



ことばの式に、□やわかっている数をあてはめればいいんだよ。□には、いろいろな数があてはまるんだよ。

1

この数で、□を使ったかけ算の式をつくってみます。

りんごが同じ数ずつ入っているふくろが4つあります。りんごの数は、ぜんぶで28こです。1ふくろのりんごの数を□ことして式にかきなさい。

◆下のことばの式に、□・4・28をあてはめて、□を使った式にします。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{(1ふくろの数)} & \times & \text{(ふくろの数)} & = & \text{(ぜんぶの数)} \\ \downarrow & & \downarrow & & \downarrow \\ \square & \times & 4 & = & 28 \end{array}$$

2

はこの数で、□を使ったかけ算の式をつくってみます。

1はこ6本入りのえんぴつを何はこか買って、本数を数えると54本ありました。何はこ買いましたか。はこの数を□はこことして、式にかきなさい。

◆下のことばの式に、□・6・54をあてはめて、□を使った式にします。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{(1はこの本数)} & \times & \text{(はこの数)} & = & \text{(ぜんぶの本数)} \\ \downarrow & & \downarrow & & \downarrow \\ 6 & \times & \square & = & 54 \end{array}$$